

経常利益率  
5割UP実現

# 第4回 管理技術塾

受講料が  
助成されます

— 実務設計編 36時間 (TV会議方式) —

**5割UPを実現する業務再構築の実務設計習得が目的  
～コンピュータは「ツール」では無く利益を生む「仕組」です～**

**「在庫低減20%以上」「人件費の8%削減」「材料費の1%削減」を実現する方策を学びます**

コンピュータシステムの「在庫が合わない」「実際原価が信用できない」「発注・製造指示業務が手修正」「月末の实地棚卸のムダ」…。これらは「**管理技術を知らない事が原因**」です。

利益を生む仕組を、具体的な業務処理プロセス、画面・帳票設計、管理方式、具体的な標準化の方法を、受講企業毎の「正しい仕事の在り方」を考え、受講企業毎の「仕組づくり」を学びます。

「**管理技術塾**」は工場業務毎の「目的」と「正しい方法・手順」を学ぶことの出来る**日本唯一の講座**です。  
主催：株式会社管理技術ラボ

## 講師ご紹介

**八木 弘泰**

中小企業診断士  
特種一種情報処理技術者



50年間、製造業の競争力強化を目的に、国家事業への協力、製造業の業務再構築に従事。

指導・業務再構築に従事した企業は、国の内外に、上場企業、中小企業の業種業態を問わず1,000社を超える。

分析・設計・指導力には定評があり、特に生産管理システム構築、定着化指導、効果測定指導は大きな利益が生まれ、多くの経営者の賛同を得ている。

## 日時・開催方法

日時：毎週 火曜日 14:00～17:00 (14:00より60分間。前回内容の質疑応答、「管理技術」の基礎を行います。)

詳細日程は、「講演内容」及び別添「カリキュラム」参照

方法：WEB(TV会議方式オンラインセミナー) (定員5社) 1社3名以内、会場での受講の場合は「大阪市内」です。

受講対象者：経営者様・役員様・工場長様・業務再構築推進者様・情報処理部門様

受講料：8万円/人(「厚労省キャリア形成促進助成金」の対象講座。最大8割の助成があります。後述参照)。

申込締切日：2014年10月28日(火曜日)

## 講演内容

2014年11月11日(火曜日)、18日(火曜日)

### 第1・2回

**「管理技術」で利益率を5割引き上げる。原価管理で利益を上げる実務設計**  
— 実際原価はウソの原価か？ 原価の実務と管理技術による「役立つ原価管理」—

2014年12月 2日(火曜日)、12月 9日(火曜日)

### 第3・4回

**「在庫管理」と「購買管理」で利益を上げる実務設計**

— 在庫低減を図る仕組づくり。手配の95%自動化により購買技術者育成を図る仕組づくり—

2014年12月16日(火曜日)、12月24日(水曜日)

### 第5・6回

**「工程管理」と「品質管理」で利益を上げる実務設計**

— 「生産性の大幅UPを実現する正しい作業時間」。「企業防衛とコスト軽減の品質管理」—

2015年 1月13日(火曜日)、1月20日(火曜日)

### 第7・8回

**「生産計画」と「資材計画」で利益を上げる実務設計**

— 「市場変動に連携した生産計画の立案と検証の仕組づくり」。「製造・購買計画の自動化」—

2015年1月27日(火曜日)、2月 3日(火曜日)

### 第9・10回

**「部品表(BOM)」と「受注出荷管理」で利益を上げる実務設計**

— 「BOMの構築方法と100%精度維持の仕組づくり」。「受注出荷業務の自動化」—

2015年2月10日(火曜日)、2月17日(火曜日)

### 第11・12回

**「分析・設計技術」と「定着化・効果測定技術」利益を上げる分析設計技術の実際**

— 正しい分析・設計・定着化・効果測定技術を認識し「業務再構築の本質」を理解する—

毎回 14時から17時(14時から15時は「原理原則編ダイジェスト」、15時から17時は「実務設計編」)

## 共通テーマ

**業務毎の利益獲得目的の①業務プロセス②画面帳票レイアウト③管理方式を習得します。**

# TV会議方式オンラインセミナー



**臨場感あふれる  
生セミナーに参加出来ます。  
(3名様まで参加OK!)**

**実際の画像は  
このようになります。**  
(Googleハングアウトを使用)

**参加者の皆様は、  
このように映ります。**

**リアルタイムなので、  
疑問点はその場で質問も出来る  
双方向型のセミナーです。**

※口頭でのご質問、その場からのチャットも可能



**オンラインセミナーのセッティングで解らない事があっても、  
弊社スタッフが、サポート致しますので、ご安心下さい。  
(必要があれば、御社へお邪魔し準備致します、必要機材の  
無償貸出も行っています。また事前テストを実施します。)**



ご用意頂く物：

1. パソコン、インターネット環境 (御社で御準備願います)
2. マイク内蔵型のWEBカメラ (無償貸与致します)
3. スピーカー又はイヤホン (無償貸与致します)
4. Googleハングアウトのインストール (無償サポート致します)

推奨要件：

- ・ 2Ghzデュアルコアプロセッサ以上、メモリ4GB以上
- Windows 7以降のOSのパソコン
- ・ 1mbps/2mbps (上り/下り) の高速ブロードバンド環境

## 【メリットと特徴】

オンラインセミナーのメリットとは？

- ①生セミナーと全く同じ効果が得られます。
- ②移動時間が不要です。  
ご希望により大阪市内の会場でも受講可能です。
- ③リアルタイムで質疑応答が気軽に出来ます。
- ④TEXTは事前に送付します。

「ASGUIDE」とは？

- ①(株)管理技術ラボの登録商標です。
- ②企業の業務再構築の「正しい方法手順」を科学化した「分析・設計ツール」「管理技術による原理原則」の習得、業務定着後の「定着化検証ツール」、「効果測定ツール」等々のマニュアル・ツール・サポート方式です。
- ③「心の教育体系」「訓練方法」をも包括したツール&サポート体系の総称です

当セミナーの特徴は？

- ①受講企業の業種業態に即した講義内容です。  
(管理技術は、業種業態により異なります。  
自社と関係無い管理技術を学んでも無駄です)
- ②受講期間中の御相談は無料です。
- ③「厚労省キャリア形成促進助成金」対象講座です。  
受講料の最大8割の助成金を、申請により、  
受領できます。(詳細は後述)

「(株)管理技術ラボ」とは？

- ①「日本の製造業を強くする」  
「SI企業のコンサルタント化」を目的に  
現在では死語化した「管理技術」の普及と  
「分析・設計方式 (ASGUIDE)」の教育訓練  
を行っています。
- ②現在までの「管理技術」の普及実態は弊社HP  
を御参照下さい。  
5千社を目標に活動を行っています。



株式会社 管理技術ラボ

セミナー参加希望の方は必要事項をご記入の上、FAX送信いただくか、メールにてお申し込みをお願いいたします。  
なお、誠に勝手ながら満席になり次第、申込を締め切らせていただきますので、ぜひお早めにお申し込みください。  
申込締切日：10月28日（火）

参加ご希望記入欄	<input type="checkbox"/> 受講する			<input type="checkbox"/> 詳しい説明を聞きたい		
貴社名(必須)	ふりがな					
ご住所(必須)						
TEL(必須)			FAX			
部署・役職名						
ご芳名(必須)	ふりがな					
E-Mail(必須)						
部署・役職名						
ご芳名(必須)	ふりがな					
E-Mail(必須)						
部署・役職名						
ご芳名(必須)	ふりがな					
E-Mail(必須)						

【お客様の個人情報の利用目的】

お客様がご記入頂きました個人情報は、本セミナー資料・受講票の送付および、弊社セミナーのご案内送付以外に使用いたしません。

また、第三者にこれを開示することはいたしません。

お客様が記載された情報は、(株)管理技術ラボの個人情報保護ポリシー(<http://www.kan-lab.com/policy.html>)に基づき、適切に管理いたします。

同意する

## 特典

- 【システム定着化自動診断】  
御社工場の課題の明確化、御社における管理技術による利益の予想、再構築期間等々の自動診断書をご希望の企業様には、講義時間外にて**今回は無償でご提供いたします。**
- 【個別相談】  
「受講期間中」は、工場管理に係る課題に、WEB会議で、講義時間外にご相談を受けます。 **(無償)**
- 「 세미나会場」  
受講者のメリットのため「オンラインセミナー」としてありますが、「会場での受講」をご希望の方は大阪市内の「 세미나会場」で受講頂けます。(受講料は同じです)
- 「当講座のフォロー」  
御社工場管理に係る「具体的な課題」のご相談は「メールに限り」受講後、半年間は、無償サポート。
- 厚生省キャリア形成促進助成金について**  
当該講座は「助成金」対象講座で、受講企業様の業種、規模(中小企業or大企業)により「助成金」の金額に差がありますが、受講料の**最大8割の助成金**が「申請」により助成されます。  
詳しくは、厚生労働省のHP内の「キャリア形成促進助成金」参照、または、弊社にお問合せください。

セミナーに関するお問合わせ先